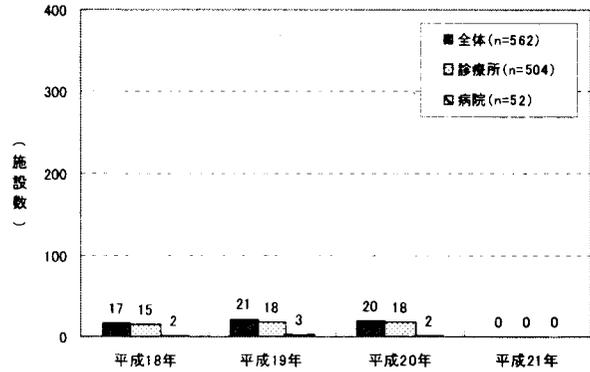


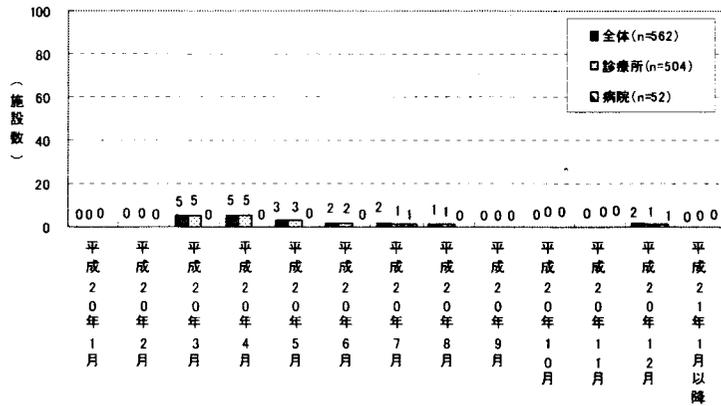
d) 血圧計

図表 37 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時の対応を行うための装置・器具の導入時期  
血圧計  
～平成18年より後に導入した施設（施設数ベース）～



(注)「歯科大学もしくは歯学部附属病院」については、対象施設がなかった。

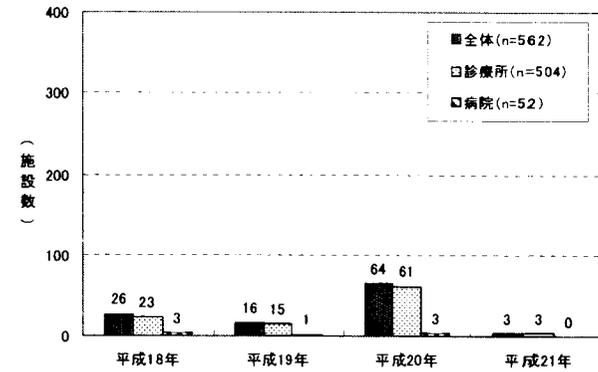
図表 38 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時の対応を行うための装置・器具の導入時期  
血圧計～平成20年別～（施設数ベース）



(注)「歯科大学もしくは歯学部附属病院」については、対象施設がなかった。

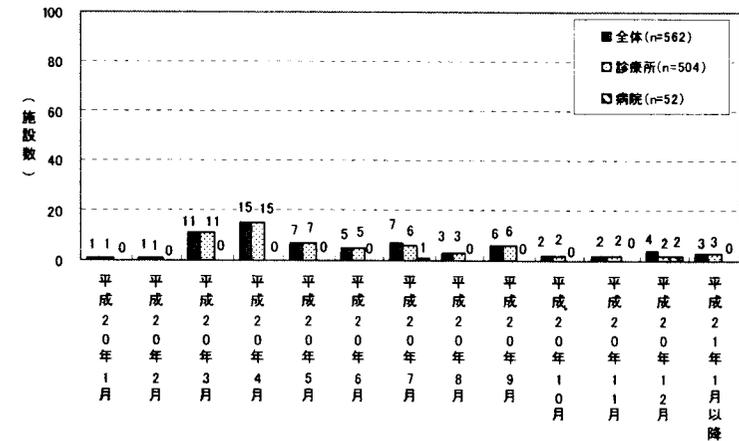
e) 救急蘇生セット（薬剤を含む）

図表 39 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時の対応を行うための装置・器具の導入時期  
救急蘇生セット（薬剤を含む）  
～平成18年より後に導入した施設（施設数ベース）～



(注)「歯科大学もしくは歯学部附属病院」については、対象施設がなかった。

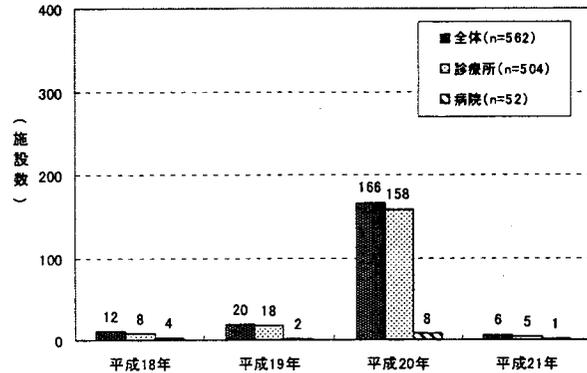
図表 40 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時の対応を行うための装置・器具の導入時期  
救急蘇生セット（薬剤を含む）～平成20年別～（施設数ベース）



(注)「歯科大学もしくは歯学部附属病院」については、対象施設がなかった。

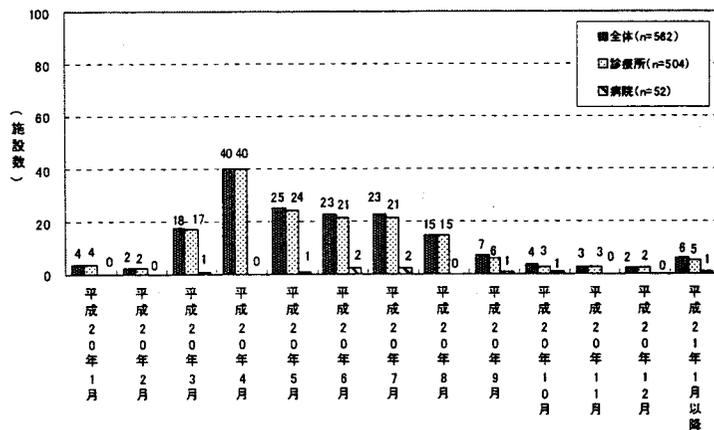
f) 歯科用吸引装置（口腔外バキューム）

図表 41 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時の対応を行うための装置・器具の導入時期  
歯科用吸引装置（口腔外バキューム）  
～平成 18 年より後に導入した施設（施設数ベース）～



(注)「歯科大学もしくは歯学部附属病院」については、対象施設がなかった。

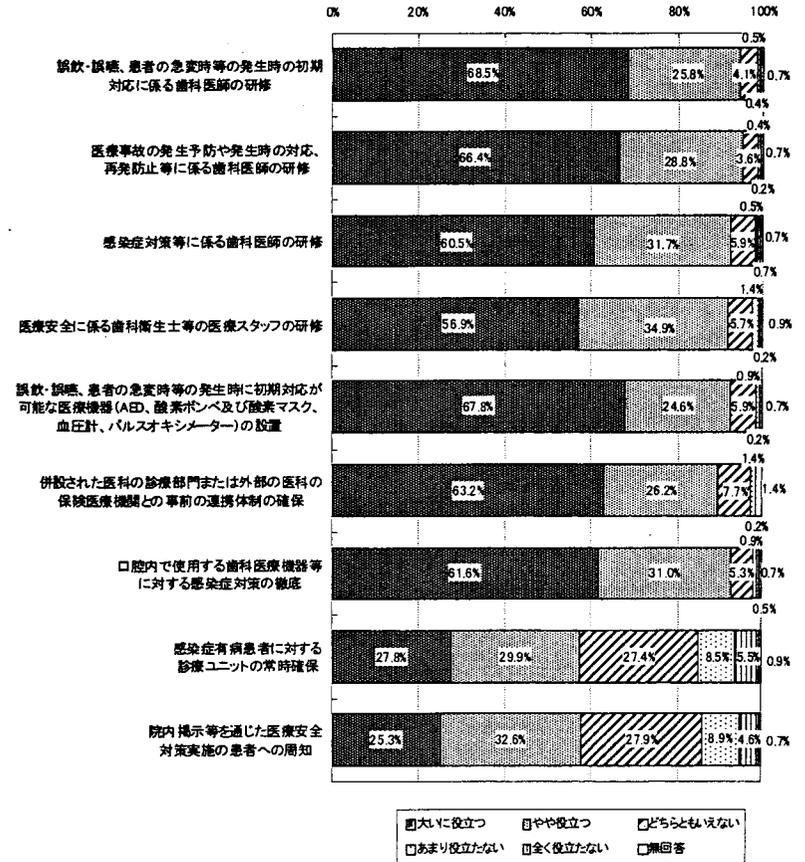
図表 42 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時の対応を行うための装置・器具の導入時期  
歯科用吸引装置（口腔外バキューム）～平成 20 年 月別～（施設数ベース）



(注)「歯科大学もしくは歯学部附属病院」については、対象施設がなかった。

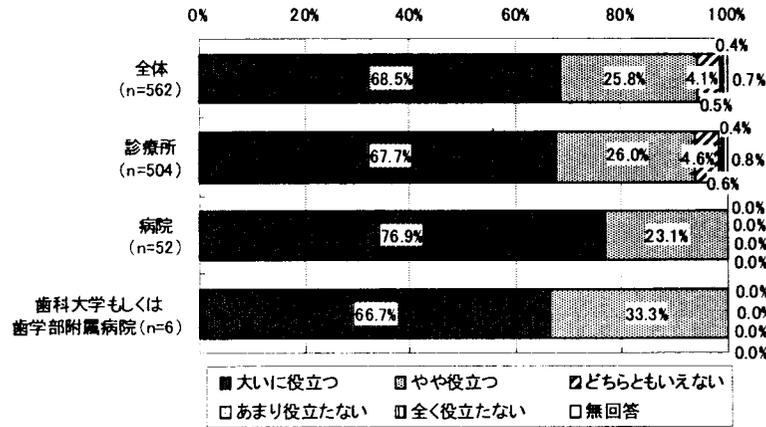
④ 歯科外来診療環境体制加算の整備に係る有効性

図表 43 歯科外来診療環境体制加算の整備に係る有効性（全体、n=562）



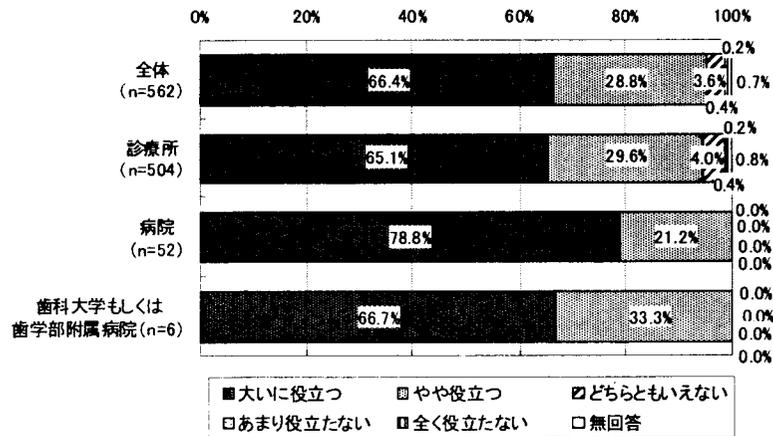
1) 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時の初期対応に係る歯科医師の研修

図表 44 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時の初期対応に係る歯科医師の研修



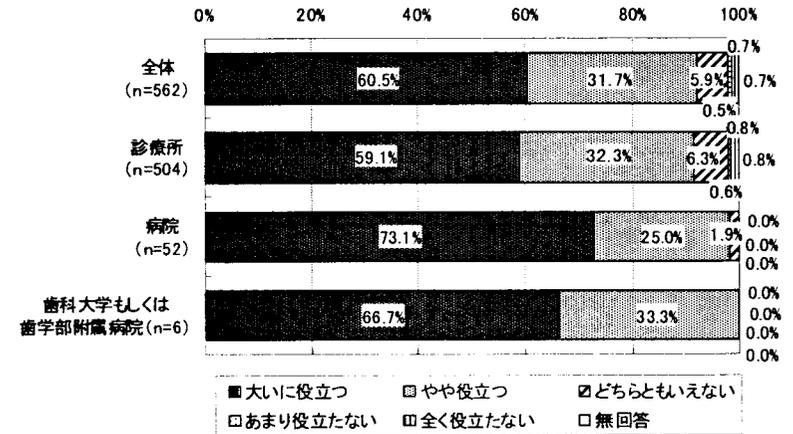
2) 医療事故の発生予防や発生時の対応、再発防止等に係る歯科医師の研修

図表 45 医療事故の発生予防や発生時の対応、再発防止等に係る歯科医師の研修



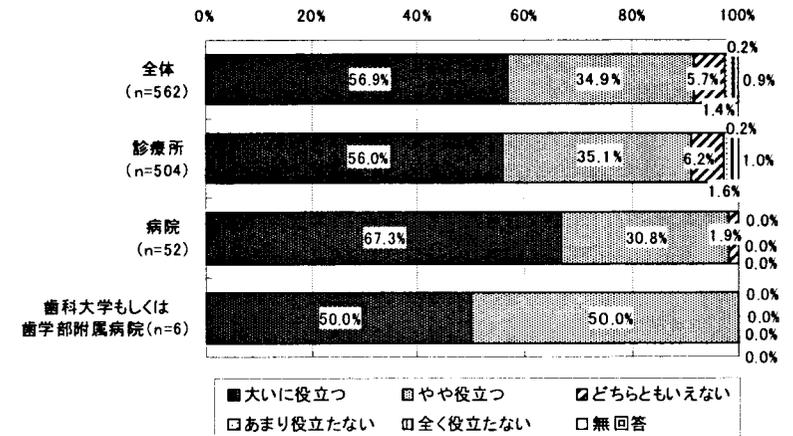
3) 感染症対策等に係る歯科医師の研修

図表 46 感染症対策等に係る歯科医師の研修



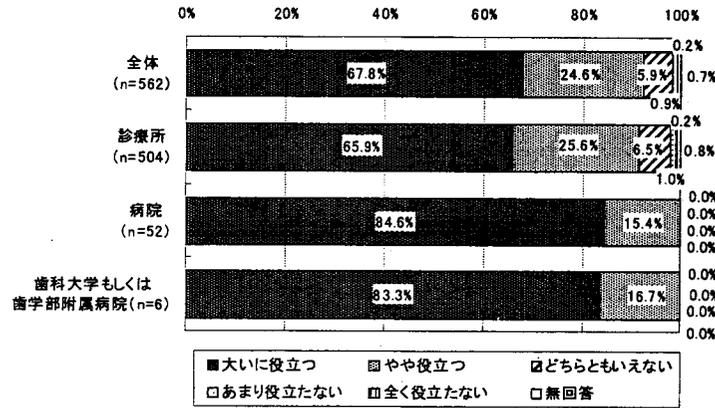
4) 医療安全に係る歯科衛生士等の医療スタッフの研修

図表 47 医療安全に係る歯科衛生士等の医療スタッフの研修



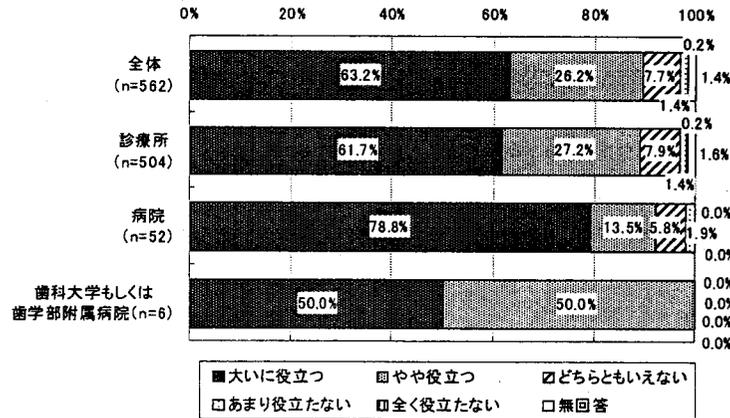
5) 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時に初期対応が可能な医療機器（AED、酸素ポンプ及び酸素マスク、血圧計、パルスオキシメーター）の設置

図表 48 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時に初期対応が可能な医療機器（AED、酸素ポンプ及び酸素マスク、血圧計、パルスオキシメーター）の設置



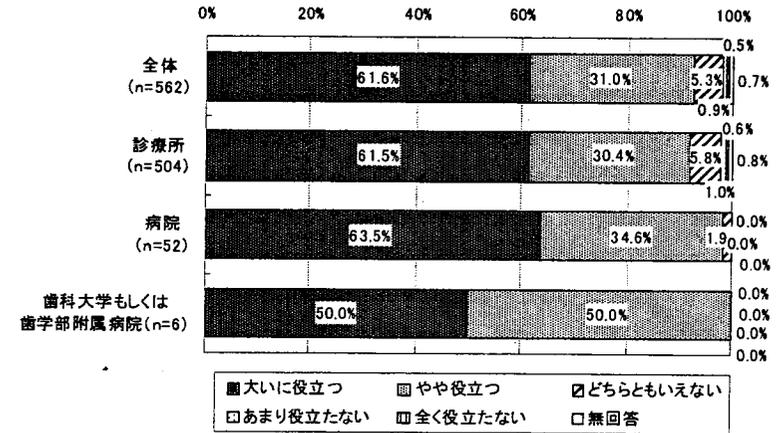
6) 併設された医科の診療部門または外部の医科の保険医療機関との事前の連携体制の確保

図表 49 併設された医科の診療部門または外部の医科の保険医療機関との事前の連携体制の確保



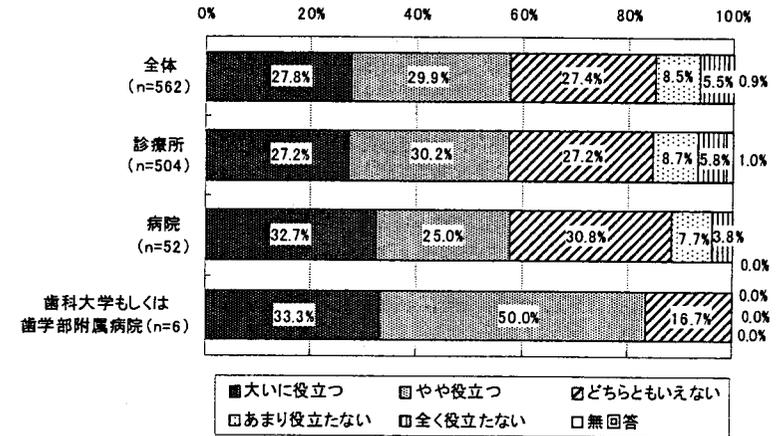
7) 口腔内で使用する歯科医療機器等に対する感染症対策の徹底

図表 50 口腔内で使用する歯科医療機器等に対する感染症対策の徹底



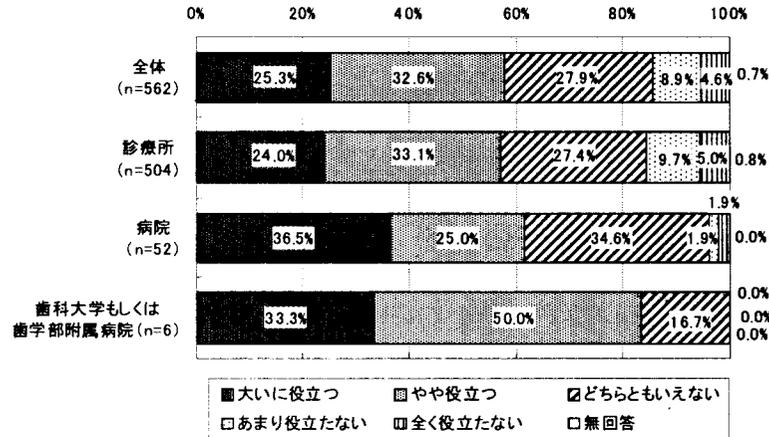
8) 感染症有病患者に対する診療ユニットの常時確保

図表 51 感染症有病患者に対する診療ユニットの常時確保



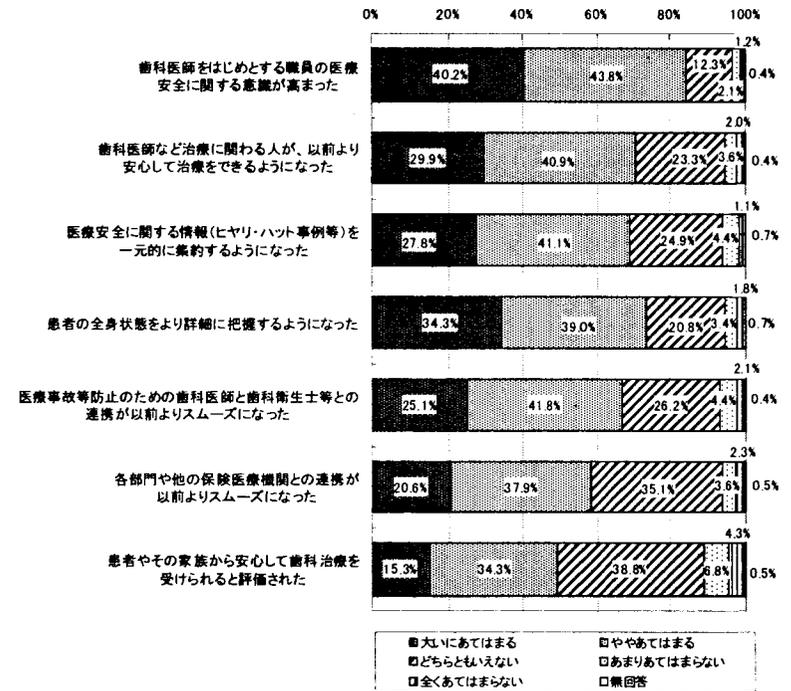
9) 院内掲示等を通じた医療安全対策実施の患者への周知

図表 52 院内掲示等を通じた医療安全対策実施の患者への周知



⑤ 歯科外来診療環境体制加算の整備による効果等

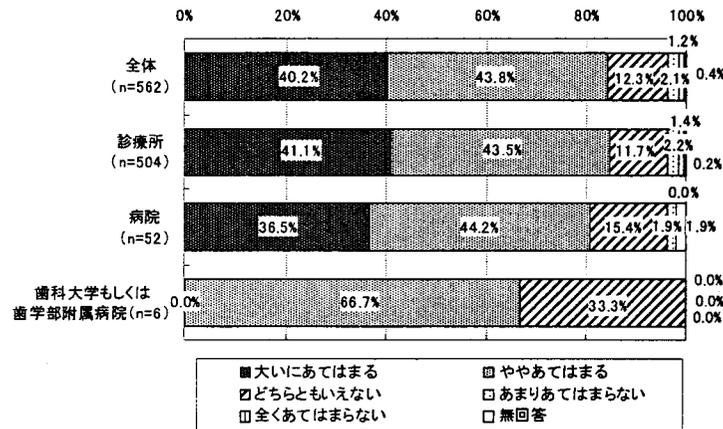
図表 53 歯科外来診療環境体制加算による、より安全・安心な歯科医療を行う上での効果 (全体、n=562)



1) 医師をはじめとする職員の医療安全に関する意識

図表 54 より安全・安心な歯科医療を行う上での効果

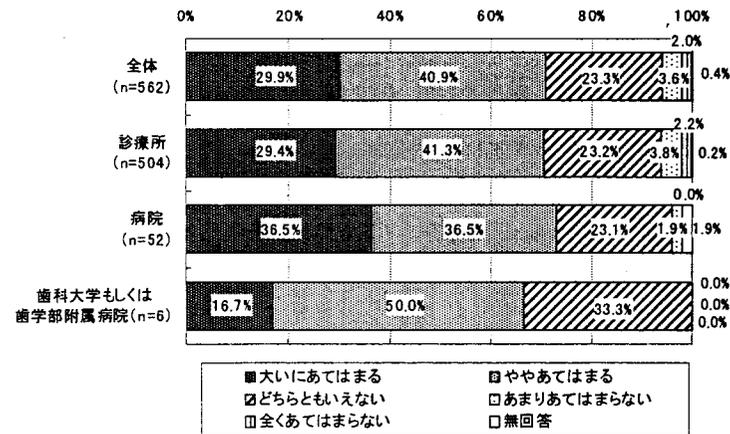
～歯科医師をはじめとする職員の医療安全に関する意識が高まった～



2) 歯科医師など治療に関わる人が治療をする際の安心感

図表 55 より安全・安心な歯科医療を行う上での効果

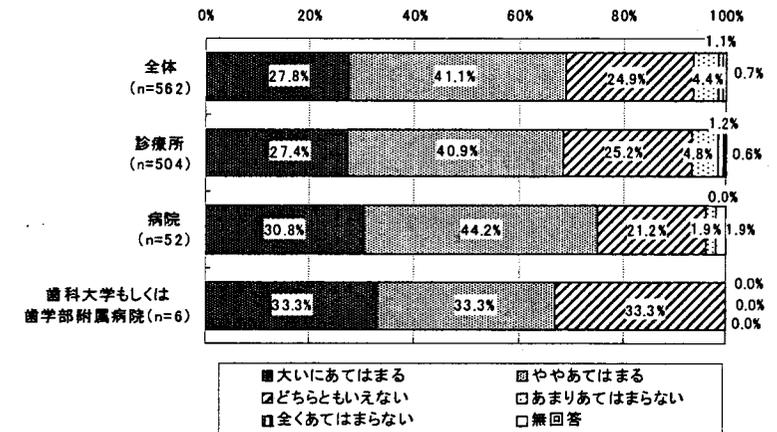
～歯科医師など治療に関わる人が、以前より安心して治療をできるようになった～



3) 医療安全に関する情報（ヒヤリ・ハット事例等）の一元的集約

図表 56 より安全・安心な歯科医療を行う上での効果

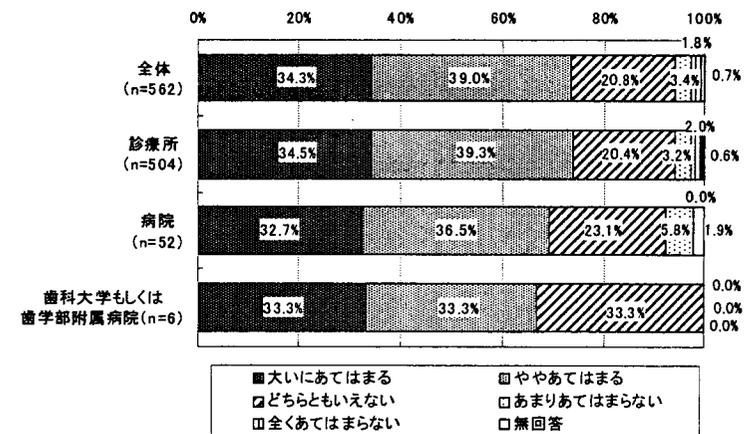
～医療安全に関する情報（ヒヤリ・ハット事例等）を一元的に集約するようになった～



4) 患者の全身状態のより詳細な把握

図表 57 より安全・安心な歯科医療を行う上での効果

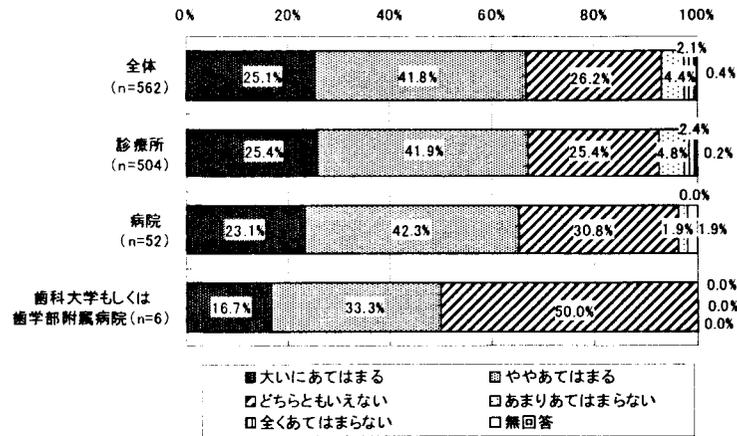
～患者の全身状態をより詳細に把握するようになった～



5) 医療事故等防止のための歯科医師と歯科衛生士等との連携

図表 58 より安全・安心な歯科医療を行う上での効果

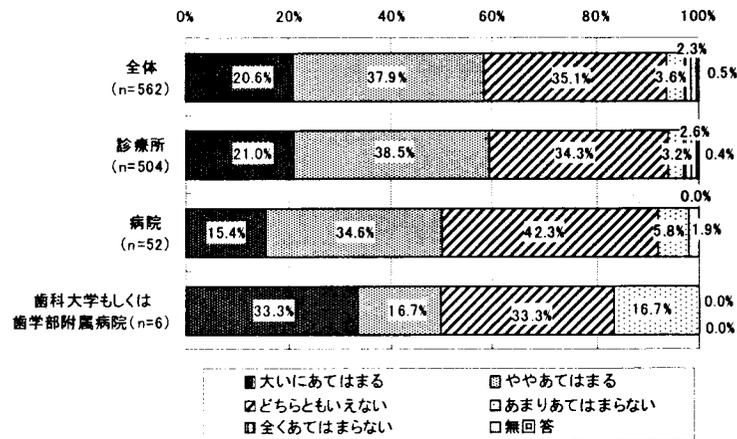
～医療事故等防止のための歯科医師と歯科衛生士等との連携が以前よりスムーズになった～



6) 各部門や他の保険医療機関との連携

図表 59 より安全・安心な歯科医療を行う上での効果

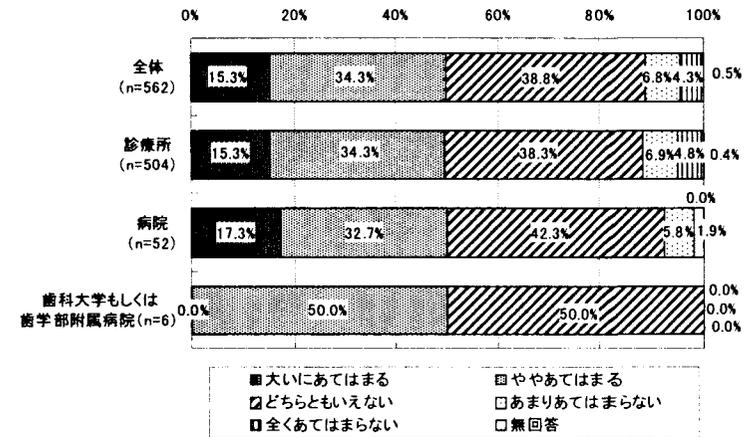
～各部門や他の保険医療機関との連携が以前よりスムーズになった～



7) 患者やその家族からの評価

図表 60 より安全・安心な歯科医療を行う上での効果

～患者やその家族から安心して歯科治療を受けられると評価された～



8) その他の歯科外来診療環境体制加算の整備による効果（自由記述形式）

- ・ AEDを導入したことで歯科治療を安心して行えるようになった。また、患者側からも安心感が高まったという話をよく聞くようになった。
  - ・ 医療機器の点検や修理、薬剤管理について記録に残すことになった。
  - ・ 歯科外来診療環境体制加算がきっかけとなり、院内ミーティングの際にヒヤリ・ハットの報告が出やすくなった。
  - ・ 歯科医師会等が行うさまざまな講習会への職員の参加が意欲的になった。
  - ・ 感染予防にコストをかけられるようになった。
- ／等

⑥平成20年度の1年間(平成20年4月～平成21年3月末)における誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時に、緊急対応が必要になった症例

1) 症例数

図表 61 症例数(施設別)

施設別	症例数	平均年齢	平均性別	平均歯周病	平均口腔粘膜	平均歯の欠損	平均その他
全体	492	316	0.6	1.6	23.0	0.0	0.0
診療所	441	225	0.5	1.0	10.0	0.0	0.0
病院	45	75	1.7	4.0	23.0	0.0	0.0
歯科大学もしくは歯学部附属病院	6	16	2.7	1.9	5.0	0.0	3.0

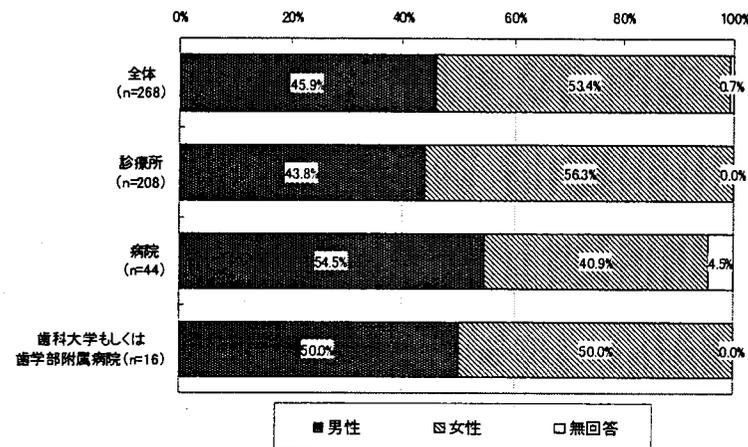
2) 患者属性

図表 62 患者属性～年齢(施設別)～

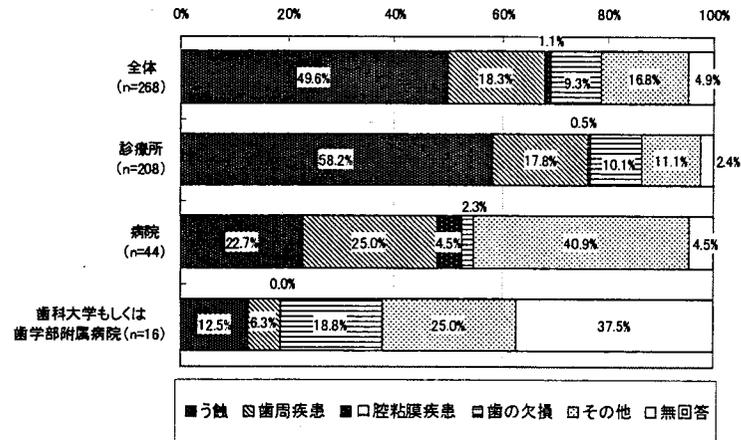
施設別	症例数	平均年齢	平均性別	平均歯周病	平均口腔粘膜	平均歯の欠損	平均その他
全体	267	44.9	21.8	90.0	2.0	40.0	
診療所	208	44.8	21.2	90.0	10.0	40.0	
病院	43	45.4	24.5	80.0	2.0	50.0	
歯科大学もしくは歯学部附属病院	16	44.9	22.6	80.0	9.0	45.0	

(注) 全体の316症例数のうち、具体的な記載のあった268症例の中から年齢の記載がなかった1症例を除いた267症例を集計対象とした。

図表 63 患者属性～性別(施設別、症例ベース)～

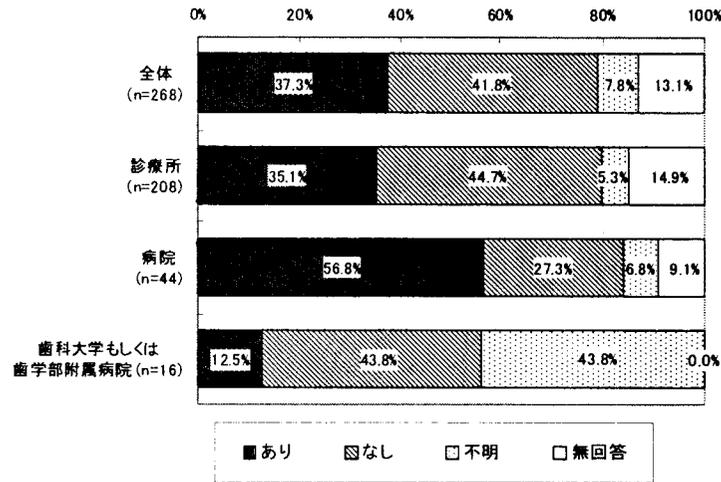


図表 64 患者属性～主たる歯科疾患名(施設別、症例ベース)～



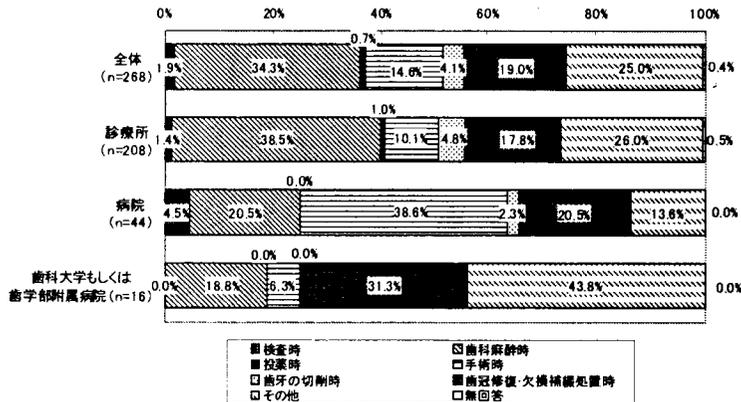
(注) 「その他」の内容として、「智歯周囲炎」「埋伏歯」等の回答があげられた。

図表 65 患者属性～歯科以外の疾患の有無（施設別、症例ベース）～



3) 急変時の状況～主に何をしている時～

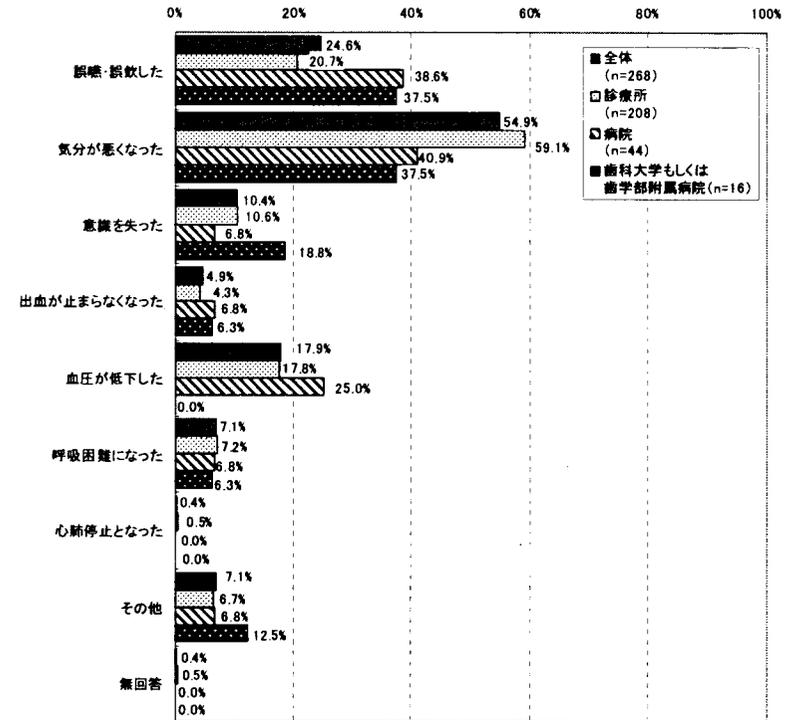
図表 66 急変時の状況～主に何をしている時（施設別、症例ベース）～



(注)「その他」の内容として、「待合室で待っている時」「抜歯時」「スケーリング時」等の回答があげられた。

4) 急変時の患者の状態

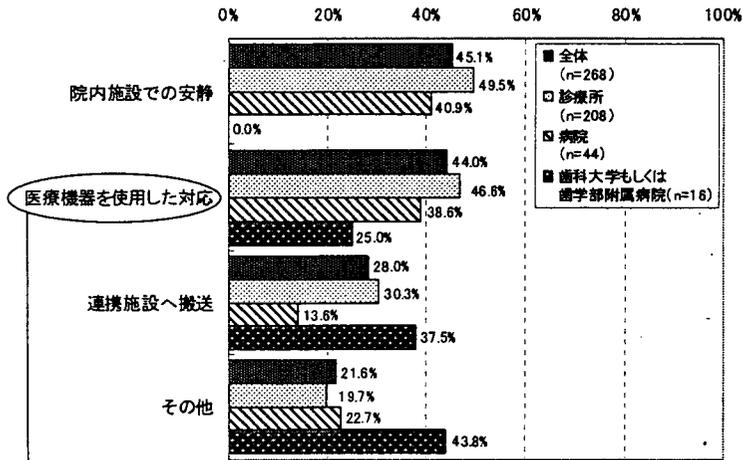
図表 67 急変時の患者の状態（施設別、症例ベース、複数回答）



(注)「その他」の内容としては、「嘔吐した」「麻痺した」等の回答があげられた。

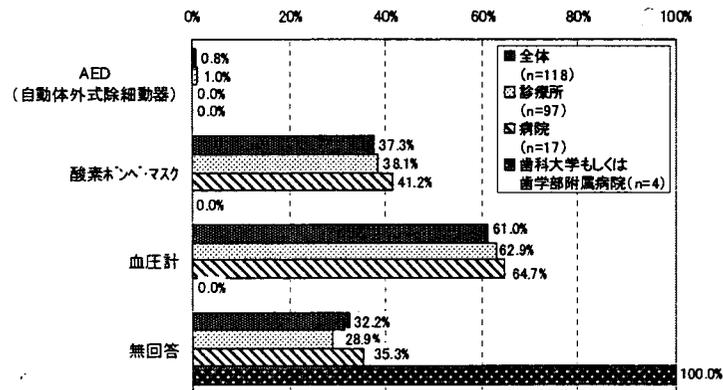
5) 具体的な対応内容

図表 68 具体的な対応内容（施設別、症例ベース、複数回答）



(注)「その他」の内容として、「レントゲン撮影」「経過観察」「かかりつけ医に搬送」等の回答があげられた。

図表 69 使用した医療機器（施設別、症例ベース、複数回答）

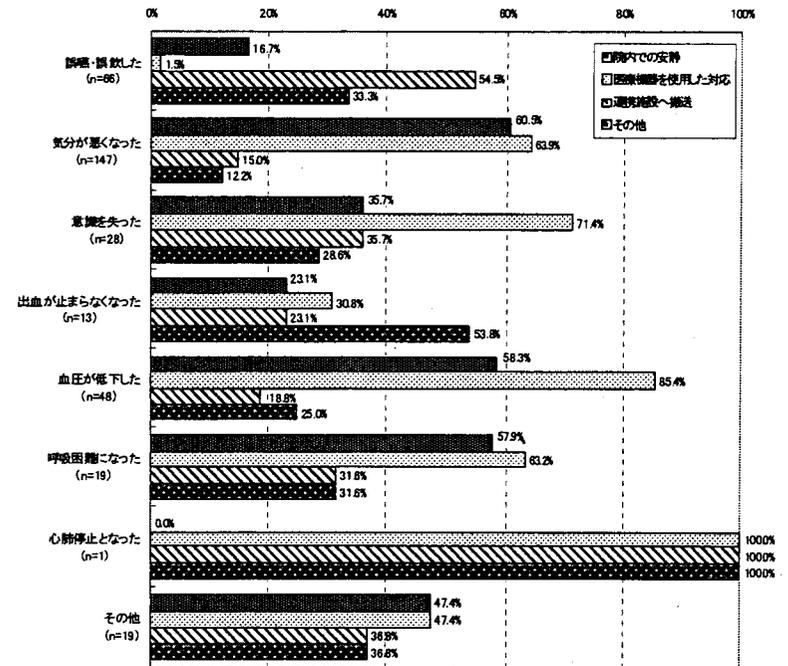


図表 70 具体的な対応内容

～「院内施設での安静」のみ回答した（単数回答）症例数～

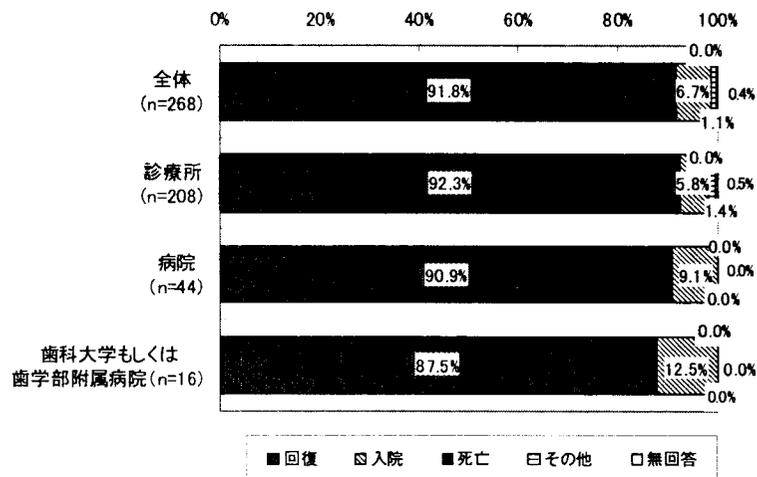
全体	n=268	62 症例 (23.1%)
診療所	n=208	49 症例 (23.6%)
病院	n=44	13 症例 (29.5%)
歯科大学もしくは歯学部附属病院	n=16	0 症例 (0.0%)

図表 71 具体的な対応内容（急変時の患者の状態別、症例ベース、複数回答）



6) 緊急時対応後の患者の状態

図表 72 緊急時対応後の患者の状態（施設別、症例ベース）



【参考】症例

<症例1>

○施設属性	診療所（歯科、小児歯科）
・その他施設基準	在宅療養支援歯科診療所
・ユニット台数	3台
○患者属性	20代・女性
・主たる歯科疾患名	歯周疾患（歯肉炎・歯周炎）
・歯科以外の疾患	あり
○何をしているとき	その他（歯石除去後）
○患者がどうなった	気分が悪くなった
○具体的な対応内容	院内施設での安静
○緊急時対応後の患者の状態	回復

<症例2>

○施設属性	病院（歯科口腔外科）
・その他施設基準	地域歯科診療支援病院歯科初診料 歯科治療総合医療管理料
・ユニット台数	7台
○患者属性	30代・男性
・主たる歯科疾患名	その他（埋伏歯）
・歯科以外の疾患	あり
○何をしているとき	歯科麻酔時
○患者がどうなった	気分が悪くなった 血圧が低下した
○具体的な対応内容	医療機器を使用した対応（酸素ボンベ・マスク、血圧計）
○緊急時対応後の患者の状態	回復

<症例3>

○施設属性	歯科大学もしくは歯学部附属病院 （歯科、矯正歯科、小児歯科、歯科口腔外科）
・その他施設基準	地域歯科診療支援病院歯科初診料
・ユニット台数	161～180台
○患者属性	60代・男性
・主たる歯科疾患名	歯の欠損
・歯科以外の疾患	なし
○何をしているとき	歯牙の切削以外の歯冠修復・欠損補綴処置（印象、装着等）時
○患者がどうなった	誤嚥・誤飲した
○具体的な対応内容	連携施設（併設医科）へ搬送 その他（胃部レントゲン撮影）
○緊急時対応後の患者の状態	回復